

特42

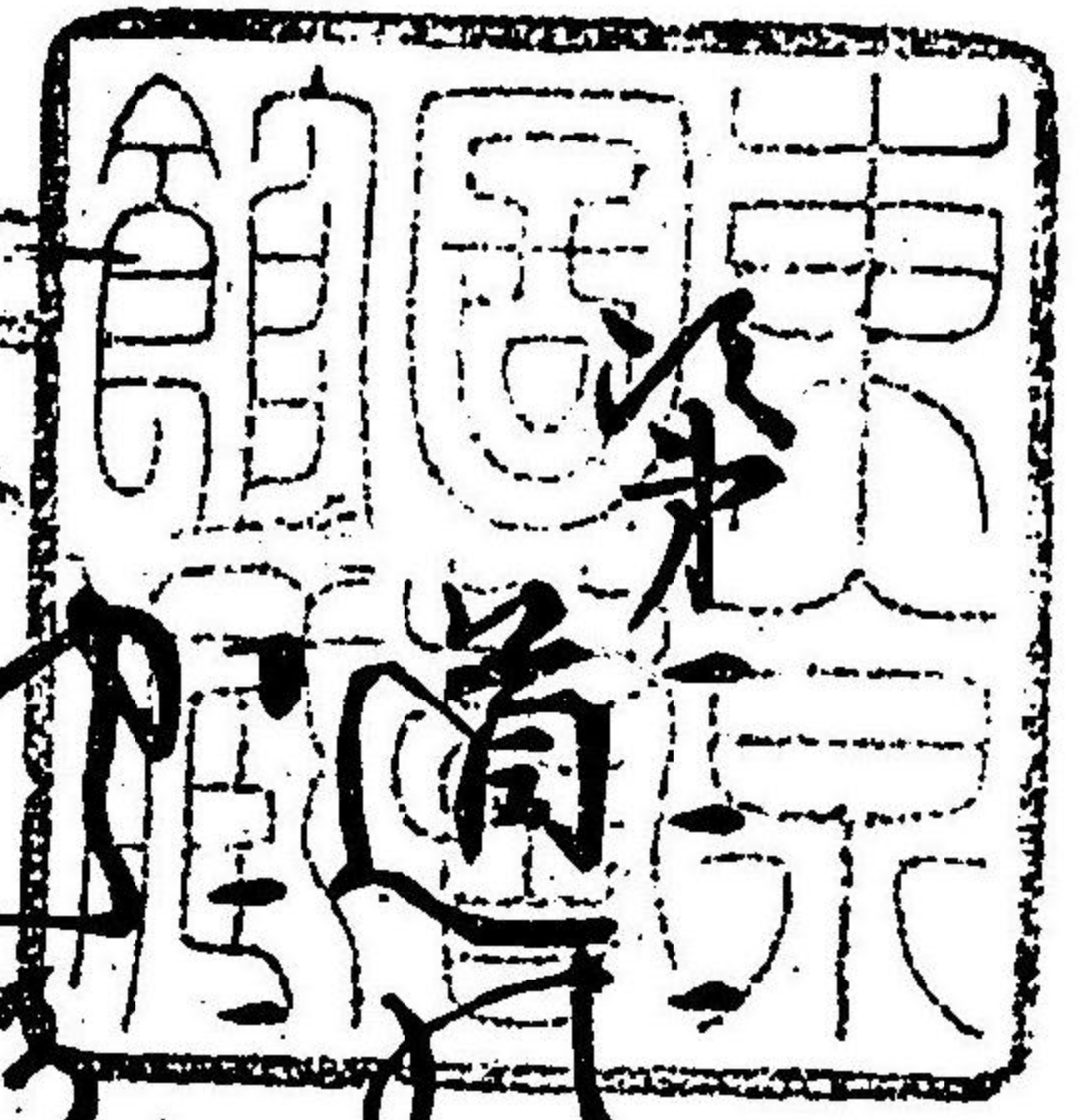
459

吳服

29

東 京 圖 書 館

一 〇	八	四 七	八	音 本	和 書 門
冊	號	架	函	類	



吳服

道にみちたる時とてわづく國を
ゆり成賢^{保信}松身を當今うま

仕へたる屋下也我此回を松
明佳よしよまき坊やては又是

より浦傳ひし西の宮よまらうも

と存^{るり}位江^ヤも長用を浪りありか

吳服

かへく^ト出^ウ傑^クの^ニあ^ル人^ノの^道
直^ニあ^ル程^ノ及^クの^浦も^名
と^エたる^異羽^ノの^里よ^きり^く
^一百^二十^三年^ノ
是^レ服^ヲら^うあ^らの^後の^浦里^ノ年^ノ
^二百^二十^四年^ノ
神^ノと^もあ^ら海^ノに^女
^三百^二十^五年^ノ
あ^らる^るあ^らる^るあ^らる^るあ^らる^る
是^レの^浦の^里に^あら^るる^るあ^らる^る
是^レの^浦の^里に^あら^るる^るあ^らる^る

キ^ニ人^ノの^者我^レ此^ノ國^ノあり^ある^る
ア^ラの^唐の^名ア^ラの^唐の^名
月^ノの^影は^も西^ノの^海波^ノ路^ノ満^タり^ある^る
た^らる^るの^唐人^ノの^年と^りて^愛の^服
の^里に^あら^るる^るあ^らる^るあ^らる^る
^トキ^ノウ^キも^いち^のあ^らる^るあ^らる^る
し^らる^るあ^らる^るあ^らる^るあ^らる^る

此のあたりにと敷島の音もきいて
 言の葉も花もあはれなる
 色も入て心もさくさくはらばら
 きたなるがはらうぬく
 我此松原のまはるる
 性二人あり一人はまはるる
 人のまはるる

^{ニ合上}
 笑し給うるもまはるる人
 取も言の葉も花もあはれなる
 色も入て心もさくさくはらばら
 きたなるがはらうぬく
 我此松原のまはるる
 性二人あり一人はまはるる
 人のまはるる

織給^レハ^ハ名^ハ雷^ハあり^ハ者^ハ極^ニ名^ハ繁^ニ給^ハレ
し^三^二^日^三に^レな^キ神^ト天^皇乃^ハ内^旨に^シ
めて^レと^モ名^ハ繁^ニ給^ハレ^テ又^レ名^ハ服^ニに^シ
あ^ハり^ト申^ス二^レ人^ノ者^ト又
めて^レた^ハは^ハ代^ハの^レ現^ハあ^ハり^トき^ハり
あ^ハり^ト申^ス二^レ人^ノ者^ト又
が^ハの^レ昔^ハ乃^ハ君^ハ代^ハの^レ唐^國乃^ハも^ハ續

二二二二

あ^ハり^ト申^ス二^レ人^ノ者^ト又
在^ル影^ニ給^ハレ^テ又^レ名^ハ繁^ニ給^ハレ^テ又^レ名^ハ服^ニに^シ

三三三

あ^ハり^ト申^ス二^レ人^ノ者^ト又
是^レ羽^ノは^ハら^ハが^ハ母^トあ^ハり^ト故^ニ

我^レ出^ル可^ク有^リし^レ人^ノあり^ト又^レ名^ハ繁^ニ給^ハレ^テ又^レ名^ハ服^ニに^シ
あ^ハり^ト申^ス二^レ人^ノ者^ト又

あ^ハり^ト申^ス二^レ人^ノ者^ト又
た^ハく^ハあ^ハり^ト申^ス二^レ人^ノ者^ト又

唐の地は東に海あり西に山あり南に蠻あり北に胡あり
 唐の人は長くはあつて唐の地は廣くはあつて
 唐の人はよくはあつて唐の地は豊くはあつて
 唐の人は強くはあつて唐の地は固くはあつて
 唐の人は多し唐の地は廣し
 唐の人はよく唐の地は豊く
 唐の人は強く唐の地は固く
 唐の人は多し唐の地は廣し
 唐の人はよく唐の地は豊く
 唐の人は強く唐の地は固く
 唐の人は多し唐の地は廣し

唐の地は東に海あり西に山あり南に蠻あり北に胡あり
 唐の人は長くはあつて唐の地は廣くはあつて
 唐の人はよくはあつて唐の地は豊くはあつて
 唐の人は強くはあつて唐の地は固くはあつて
 唐の人は多し唐の地は廣し
 唐の人はよく唐の地は豊く
 唐の人は強く唐の地は固く
 唐の人は多し唐の地は廣し
 唐の人はよく唐の地は豊く
 唐の人は強く唐の地は固く
 唐の人は多し唐の地は廣し

うちて女正乃ちあつとあり
ミサ出らぬ神功皇后三韓を治るる給
ひより和國異朝の道ひよりと
の國をなひく世乃我日の本に長閑
ある所付の老ハあゆ移くて國を
たきやうなり トテテ東南雲治りく
西水西水の静まり 美應神天皇の字

かよ吳國の勅使此國よ初て多り給
ひ一勢もあつとめら女婦とて萬
軍の鎗波とあつとて西日歌あり
あは是羽乃のまよもさしひま日よさ
つとあつとあつとあつとあつとあつと
衣とあつと勅使奏給とあつとあつと
あつとあつとあつとあつとあつと

衣龍の法衣の紋はあはれもなまらぬ
山をとり色とりしつゝ美観のなる身
雲身はごまごまをたぬあやとあり
いもあはれとりまや 一息の萬
代に絶きぬ神調もくし 悲愴な女
うらやうい服の文字をわらうまて
くれらうあやうらうらうがな付はまはる

今年としらへくもさるのあやの錦
乃唐衣はひくも君う袖はさた
めさくきくも家は付らぬた
言葉
ウ
たさき女さる有らうらうら
織ひ入るはらうらうらあは錦
まうて秋君のは調は俊し

上地

上地
 一 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 二 小 車 乃 時 ず あり
 三 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 四 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 五 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 六 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 七 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 八 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 九 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 十 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 甲 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々

陰 下 様 君 乃 時 ず あり
 一 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 二 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 三 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 四 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 五 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 六 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 七 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 八 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 九 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々
 十 鳥 鳴 け ぬ 錦 乃 文 々

上地 鳥 流るるぐーたまふと夕はよきた
 くるくるぐーの音 錦上と織下たお
 れうらまばちの字をあつらひて衣上
下 つ忍のうへよ懸あ乃拜上松のゆ又下
 さいきうの浪のま 北 志まろよは下
 あまのこもの北 鶯上とるや鳥下の手に
 まろくと 北 神上とるあたま 下 小ま

上 乃新上 北 せき 下 さら 北 た 下 ち 下 ち
上 まろ 下 た 上 ち 下 ち 北 ち 下 ち
 も 上 ま 下 ろ 北 へ 下 ち 下 ち 下 ち 下 ち
 め 上 乃 下 ち 北 ろ 下 ち 下 ち 下 ち 下 ち
 織 上 乃 下 ち 北 だ 下 ち 下 ち 下 ち 下 ち
 乃 上 精 下 靈 北 妙 下 童 下 童 下 童 下 童
 甲 上 乃 下 精 北 靈 下 妙 下 童 下 童 下 童 下 童
 甲 上 乃 下 精 北 靈 下 妙 下 童 下 童 下 童 下 童

乃前也。辭なき。我君より。き
そのみより。き。二人の辭。姫
是羽也。乃のき。りく。よ。れ。と。あ。わ
まのき。りく。乃のき。りく。あ。う。あ。う。
御代より。あ。て。た。ま。し。れ。

右之本者觀世太夫織部
章句真本令放行畢

正徳六_丙申歲弥生

天保十一_{庚子}歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治十七年三月六日翻刻御届
同年四月十二日別製本御届

定價四錢

翻刻人

京都府平民

寺田熊次郎



下京區第五組鉄屋町
錦小路五梅屋町十三番戶

